



竹や身の回りにあるもので制作されたオブジェ

10月7日、地域を少しでも元気づけようと、菅福小さな拠点高宮の郷企画運営委員会が企画し、菅福社会体育館で手作りの花火大会が開催されました。

当日は、菅福地区をはじめ町内外から約50人が参加。会場では焼きそばやじゃがバターなどが販売されました。また、地域おこし協力隊員の眞崎さんが竹細工の作品を披露したり、昭和歌謡など懐かしい音楽がレコードから流れるなど、来場者の目や耳を楽しませていました。

その後、約50発の花火が打ち上げられると、参加者は歓声を上げながら、笑顔で夜空を見上げていました。



菅福地区で小さな花火大会  
夜空を彩る色とりどりの大輪

## 良質な生乳生産への取り組みなどが評価

### 小谷一起さんに鳥取県知事表彰

10月24日、県内の農林水産業の発展に功績のあった人を表彰する「鳥取県優秀経営農林水産業者等表彰式典」が県庁で開かれ、町からは、小谷一起さん（小河内）が「未来を担う青年農林水産業者」として知事表彰を受けられました。

小谷さんは、平成27年に酪農を営む父・晋さんの元に親元就農され、令和4年には晋さんから経営移譲を受け、現在は成牛80頭、育成牛45頭を飼育、生乳を出荷されています。



このたびの表彰では、乳質・乳量の向上のために牛のストレス軽減に取り組んでいることや、労働環境の改善のための家族経営協定締結やエサ寄せロボットの導入、また、「日野町がんばる地域プラン」の堆肥散布事業に畜産堆肥を供給し、循環型農業の推進に貢献していることが評価されました。

町内の優秀な若手農業者として、小谷さんの今後の活躍が期待されます。



表彰状を手にする小谷さん



和気あいあいと楽しむ参加者の皆さん

笑い声響く、和やかな時間  
グラウンドゴルフ親睦交流大会

老人クラブ会員と地域住民の親睦を深めようと、10月26日、カワコふれあい公園で、第14回グラウンドゴルフ親睦交流大会（日野町老人クラブ連合会主催）が開かれました。  
青空が広がる秋晴れの中での開催となった今大会では、参加した皆さんはグループに分かれ、プレーを行いました。「ナイスショット」「お見事！」など、お互い声を掛け合いながら、元氣よくプレーを楽しんでいました。結果は、石田幹暢さん（下榎）が優勝しました。おめでとうございます。



共同宣言に署名した平井知事と3町長

鳥取県日野郡連携会議  
小さいまちのメリットを生かして

10月26日、日野町役場大会議室で、鳥取県と日野郡3町（日野、江府、日南）による鳥取県日野郡連携会議が開かれました。  
同会議では、平井知事と3町長らが、若者の地方自治への関心を高め、地域づくりへの参画推進を目的とする「日野郡ウチまち化プロジェクト」や、郡内の保育士・保育教諭の交流、サイクリングルート設定による自転車活用の推進などについて協議。「『小さいからこそできる』人材育成と地域資源の活用により持続可能な日野郡を創る共同宣言」に署名しました。

集落支援員  
だより

SASAKI RYOUMEI  
佐々木 良明

担当地区：菅福



10月7日に「小さな花火大会」を開催しました。道に迷っていた米子からの夫婦。板井原から友人と約束して来た親子。和やかに過ごす家族。笑顔で楽しそうに談笑するグループ。協力隊の眞崎さんが制作した竹のオブジェの中に入って、影絵で遊ぶ子どもたち。80食用意した屋台の焼きそばは、瞬く間に売り切れました。



会場の真上、みんなが見上げるすぐ先に開いた花火は大きく迫力があり、初めて見る人はちょっと驚きだったようです。

焼きそば、焼きいもを焼く菅福の若手、接客をする若い夫婦、食材を刻むお母さん、菅福のみんなで作り上げた「大きな花火大会」になりました。

青パイヤ 収穫!!



▲大きく実った青パイヤ

11月4日、久住の青パイヤほ場で、青パイヤ収穫祭（奥ひの青パイヤ研究会・特定非営利活動法人ノーム主催）が行われました。

町の新たな特産品化を目指し、栽培にチャレンジしている青パイヤ。当日は、奥ひの青パイヤ研究会会員の指導を受けながら、参加者は珍しそうに青パイヤを収穫していました。